

産業廃棄物の不法投棄等の状況(平成 27 年度)について



環境省は、平成 28 年 12 月 27 日、平成 27 年度の産業廃棄物の不法投棄や不適正処理事案等について調査結果を公表しました。結果の概要は以下のとおりです。

- (1)平成 27 年度に新たに判明した不法投棄事案の件数は、143 件(前年度 165 件、前年対比 -22 件)、不法投棄量は 16.6 万トン(同 2.9 万トン、同+13.7 万トン)でした。
- (2)平成 27 年度に新たに判明した不適正処理事案の件数は、261 件(前年度 146 件、前年対比 +115 件)、不適正処理量は 40.7 万トン(同 6.0 万トン、同+34.7 万トン)でした。
- (3)平成 27 年度末における不法投棄等の残存事案は、2,646 件(前年度 2,583 件、前年対比 +63 件)、残存量の合計は 1,609.7 万トン(同 1,594.2 万トン、同+15.5 万トン)でした。
- (4)硫酸ピッチの不適正処理について、平成 27 年度に新たに判明した報告件数は 0 件でした。

不法投棄の新規判明数は、最近十数年で大幅に減少しており、一定の成果が見られます。しかし、不適正処理とともに完全に撲滅するには至っておりません。

残存事案に対する都道府県等の対応としては、現に支障が生じている 12 件については、全て支障除去措置に着手、支障のおそれがある 88 件については、その状況により防止措置、周辺環境モニタリング、状況確認の立入検査など、実施または実施予定です。

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 平成 28 年 12 月 27 日付 環境省ホームページ

土壌環境箇所 坂田旭子

